

試合番号 : 256		試合会場 : 有明コロシアム		観客数 : 8,749	
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:37		試合時間 : 01:37	
主審 : 浅井 唯由		副審 : 山本 晋五			
東京グレートベアーズ 通算 14勝 18敗 ポイント : 46		日本製鉄堺ブレイザーズ 通算 16勝 16敗 ポイント : 47			
監督コメント 本日は、V LEAGUE史上最大の観客動員と私たちの勝利をたくさんの方々に届けることができ嬉しく思います。昨日の反省点を改善し本日の試合に挑むことができました。その結果私たちのスタイルでバレーボールをすることができました。V・ファイナルステージ進出をかけてまだまだ気の抜けない試合が続きますが、頑張ります。本日はたくさんの方の応援ありがとうございました。	3	25 第1セット 18	0	監督コメント 昨日の敗戦を受け、チームとして修正を図り、試合に臨みました。V・ファイナルラウンド進出に向け大切な一戦であることは、チーム全員の共通認識として戦いましたが、勝利することは出来ませんでした。残りの試合を全て勝ち、V・ファイナルラウンドへ向けて引き続きチーム全員One Teamで戦います。本日も応援ありがとうございました。次の試合も応援よろしくお願いたします。	
		25 第2セット 21			
		25 第3セット 15			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート ホームで2連勝を飾りたい東京グレートベアーズと、昨日のリベンジに燃える日本製鉄堺ブレイザーズの一戦。第1セット、序盤から東京GBは小田嶋のブロックやアラウージョのスパイクが決まり、リードを掴む。対する日鉄堺BZは迫田と安井が躍動するも、東京GBは終盤、戸畠のブロックや山田のスパイクで勢いに乗りセットを先取する。第2セット、東京GBはアラウージョ、山田の効果的なサーブから後藤の多彩な攻撃が決まり、1セット目の勢いそのままに、試合をリードする。日鉄堺BZもバーノンと迫田にボールを集めて点を重ね、追いかける。東京GBがリードのまま迎えた終盤、日鉄堺BZは迫田のスパイクや竹元のブロックが決まり点差を縮めたが、最後は東京GBアラウージョのスパイクが決まりセットを連取する。第3セット、序盤から東京GBは深澤の巧みなトス回しで日鉄堺BZのブロックを翻弄する。1、2セット目同様に東京GBが大きくリードする展開となる。日鉄堺BZは編野、バーノン、迫田にボールを集めるも、東京GBの古賀の中心とした堅い守備を崩すことが出来ない。終盤、東京GBは山田のクイックや後藤の鋭いスパイクでリードを保ち、東京GBがホームゲーム2連勝を飾った。					
試合番号 : 257		試合会場 : エレコム・ロジテックアリーナ (伊那市民体育館)		観客数 : 931	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:00		試合時間 : 02:00	
主審 : 高橋 宏明		副審 : 戸川 太輔			
VC長野トライデンツ 通算 2勝 30敗 ポイント : 9		ヴォレアス北海道 通算 3勝 29敗 ポイント : 11			
監督コメント 昨日の悔しさを、本日の試合でチーム全員が勝ちにこだわり戦い抜いてくれたこと、本当にうれしく思います。本日の試合、1セット目からサーブが効果的に決まり、また自チームのサイドアウトもしっかり安定したスタートが切れました。3セット目、ヴォレアスの強いサーブに苦しめられ、また自チームのサーブが機能できなかったが、4セット目、立て直し最後までよく戦い抜いてくれました。今シーズン最後のホームゲームで勝利できたこと、うれしく思います。たくさんのご声援本当にありがとうございました。残り4戦アウェイでの戦いになりますが、本日のように全員で、全力で最後までしっかり戦い抜きたいと思っております。	3	25 第1セット 22	1	監督コメント 残念ながら昨日のレベルを再現することはできず、VC長野の方がはるかに優れていました。オフェンスは今日も堅調でしたが、サーブとブロックから始めるブレイクポイントフェイズが十分ではありませんでした。戦術の細かい部分を遂行することができず、相手に効果的にアタックを決められてしまいました。私たちはこの経験から多くのことを学び、最後のホームゲームとなる次の試合にすぐに集中しなければなりません。本日はサポーターの皆様、大きな声援をありがとうございました。	
		25 第2セット 19			
		22 第3セット 25			
		25 第4セット 19			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、VC長野トライデンツは中野を中心に攻撃を任せてリードしてゲームが進む。ヴォレアス北海道は戸田の狙い澄ましたサーブで相手を崩して追いつく。修、工藤を中心に攻撃するVC長野に対し、ヴォレアスは山岸がトスを振り分け、更に自らもツアーアタックを決めて終盤まで熱い攻防が続く。最後はヴォレアスの乱れにつけ込んだVC長野は中野がスパイクを決めセットを先取した。第2セット、VC長野は中野、修を中心に得点を重ねてリードを広げる。ヴォレアスもメンバーチェンジで流れを変えようとするが、VC長野は山田のクイックが効果的に決まり、更に長いラリーを修のスパイクで奪う。最後は修がスパイクを決め、VC長野がセットを連取した。第3セット、序盤から一進一退の攻防が続く。中野、修、更に工藤が得点を重ねるVC長野に対し、ヴォレアスは張がスパイクで対抗しサイドアウトの応酬が続く。張のスパイクでヴォレアスが連続得点すると、VC長野も工藤のブロックで連続得点を挙げて同点に追いつくが、戸田のスパイク、田代のブロックで抜出したヴォレアスがこのセットを奪取した。第4セット、サーブレシーブが安定してきたVC長野は、セッター下川が攻撃陣をうまく使い分け、相手に的を絞らせない。ヴォレアスも張を中心に攻撃するがなかなか点差は縮まらない。リリーフサーバー一池田(颯)のサーブで相手を崩したVC長野は更に得点を重ねる。最後はVC長野は備のサーブレシーブから中野がスパイクを決めセットを奪って、今シーズンのホームゲーム最終戦を白星で飾った。					
試合番号 : 258		試合会場 : 香陵アリーナ (沼津市総合体育館)		観客数 : 2,170	
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:40		試合時間 : 02:40	
主審 : 中山 健		副審 : 林 淳一			
東レアローズ 通算 15勝 17敗 ポイント : 41		ジェイテクトSTINGS 通算 11勝 21敗 ポイント : 32			
監督コメント 今日の試合は、V・ファイナルステージ進出に向けて痛恨の敗戦となりました。所々細かいミスが出てしまいがちで、相手も強くなってしまったのが原因となったと思います。これからプレッシャーがかかってくる中で、いかにプレーの精度を上げられるかが重要です。来週に向けて今出た課題を修正し挑みたいと思っております。2日間、たくさんの方の応援ありがとうございました。	2	32 第1セット 34	3	監督コメント 今シーズン初のフルセットマッチとなり、勝つことができうれしく思っています。残り4試合、会場のファンの方々のためにベストを尽くしたいと思います。本日もたくさんの方の応援ありがとうございました。また来週はホームゲームがありますので、たくさんの方の応援をお願いします。	
		25 第2セット 23			
		19 第3セット 25			
		25 第4セット 22			
		7 第5セット 15			
要約レポート 昨日貴重な1勝を得た東レアローズと勝利に向け闘争心を燃やすジェイテクトSTINGSとの対戦。第1セットは、序盤からジェイテクト開田の多彩なトスワークからウルナウト、藤中が東しの堅い守備の間に攻撃を通す。対する東しはパダル、小澤、富田がスパイクで応戦する。終盤リリーフサーバーとして投入された東し小野がサーブエースで流れを引き寄せると、ジェイテクトが乱打戦を制しセットを先取した。第2セットは、ジェイテクト・ウルナウト、藤中が両サイドからスパイクを打ち込み突き放しにかかるも、東し高橋、上條、小澤が隙のない攻守で立ちふさがり、パダルの好レシーブから富田がダイレクトスパイクを決め逆転した東しがセットを奪取した。第3セットは、序盤にジェイテクトが開田のサーブから抜け出し、高橋(和)が好レシーブで、ウルナウト、藤中がスパイクで躍動しチームを援護する。追う東しは西本、山田を投入してチームを勢いづけようとするも、最後はウルナウトのスパイクが一閃ジェイテクトがセットを奪い返す。第4セット、後がない東しは序盤からサーブを攻める。反撃に向けジェイテクトは鏡を投入。福山と共に早い攻撃を展開するも、富田のノータッチエースで東しがフルセットに持ち込んだ。第5セットは、ジェイテクト・ウルナウト、藤中の攻撃で流れを掴み9-4と大きくリードすると、勢いそのままに東しの攻撃をかわし切りフルセットの接戦を制した。					
試合番号 : 259		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)		観客数 : 2,579	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:32		試合時間 : 02:32	
主審 : 澤 達大		副審 : 千代延 靖夫			
ウルフドッグス名古屋 通算 23勝 9敗 ポイント : 71		JTサンダーズ広島 通算 21勝 11敗 ポイント : 62			
監督コメント 世界中から応援してくださっている我々ウルフドッグス名古屋のファンの皆様、改めて感謝申し上げます。相手のタフなサーブによって苦しんだ場面がありましたが、試合の中で選手たちはコミュニケーションを取りながら、対応してくれたと思います。このような厳しい試合を通じて、選手たちは経験を積み、一人ひとりが自分自身で考え、より強くなるために成長し続けていると信じております。本日のホームゲームは2週間後です。場所はここ豊田合成記念体育館「エントリオ」になります。まずは来週の試合に向けて、チーム全員でできる限りの準備をしたいと思います。世界中の人々の健康と安全を心よりお祈りしております。Enjoy the competition!	3	25 第1セット 27	1	監督コメント 敗れはしたものの3セット目までは非常に高いレベルのプレーが出来ていたと思う。残りのV・レギュラーラウンド2週となったが、プレーオフに向けて、更にレベルアップ出来る様に準備していきたい。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。	
		26 第2セット 24			
		36 第3セット 34			
		25 第4セット 17			
		第5セット			
要約レポート 第1セット、ウルフドッグス名古屋は高梨が緩急をつけた攻撃で得点するなど、リードする。対するJTサンダーズ広島も点差が離れないまま終盤を迎えると、川口がサーブで崩し、三輪がダイレクトでアタックを決めて逆転すると、そのままデュースを制してセットをものにした。第2セット、WD名古屋はクレクのブロックを皮切りに、山崎と高梨のバックアタックなどで先行する。対するJT広島はラッセルと江が両サイドからアタックを決めていき、このセットも接戦になる。WD名古屋は王のブロックでセットポイントを握ると、最後はクレクが渾身のスパイクを決め、セットを奪い返した。第3セット、WD名古屋は川口が好レシーブを連発し、前のセットの勢いそのままに好スタートを切る。JT広島は終盤にラッセルのサーブで3連続得点し24-24とデュースに持ち込むも最後はWD名古屋が36-34の接戦を制してセットを連取した。第4セット、主導権を握ったのはWD名古屋。王と高梨がブロックを決めるなど4点リードでテクニカルタイムアウトを迎える。その後もWD名古屋は要所で傳田と山崎がブロックを決めるなど点差を広げていき、最後は永露のツアーアタックがコート中央に決まり、試合をものにした。					

試合番号 : 260		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 3,030						
開始時間 : 14:05		終了時間 : 16:43		試合時間 : 02:38		主審 : 國頭 亮太		副審 : 森口 豊				
パナソニックパンサーズ		通算	28 勝	4 敗	25	第1セット	18	サントリーサンバーズ				
			ポイント :	85	20	第2セット	25	通算	27 勝			
監督コメント 昨日と同じように負けてしまったので、フラストレーションはありますが、選手たちは誇りに思っています。強いサントリーに対して最後までしっかりと戦いました。また来週からも大事な試合があるので引き続き応援よろしくお祈りします。	2							3	監督コメント 本日もサンバーズへのご声援ありがとうございました。2日間ともにフルセットという激戦でしたが、勝つことができたことに先ずは大きな喜びを感じています。パナソニックの選手層の厚さ、そしてパフォーマンスが高いレベルで発揮されており、勝つことが易くないチームだと思います。一瞬の気の緩みから簡単に流れを持っていかれてしまう、ゲーム運びの上手さも強さを感じる点だったと思います。そのチームに勝つことが出来たのは、チームとして戦うことができたからであり、決して個の力だけで勝ったわけではないということを感じていただけたのではないのでしょうか。残りV・レギュラーラウンド4試合、1つでも上の順位で臨める様、今後も“PLAY HARD”を胸に活動していきます。			
										21	第3セット	25
										29	第4セット	27
										20	第5セット	22
										要約レポート 前日のフルセットの熱気が冷めやらぬ中迎えた1位パナソニックパンサーズと2位サントリーサンバーズの首位攻防第2戦。第1セット、パナソニックは山内のクイック、サントリーはアラインの攻撃等が決まり、サイドアウトの応酬の展開となった。セット中盤、パナソニックは仲本のサービスエースでリードを奪うと、西山や大塚の攻撃で得点を重ねセットを先取した。第2セット、序盤サントリーがムセルスキーにトスを集めてリードを奪う展開となった。その後もサントリーは鬼木のブロック、小野寺のクイック等でリードを広げ、セットを取り返した。第3セット、パナソニックは司令塔深津を起点に相手にブロックの的を絞らせない攻撃を展開するが、サントリーもムセルスキーの攻撃、アラインのブロック等で4連続得点を決め、着実に差を広げたサントリーがセットを連取した。第4セット、あとがないパナソニックは西山のライトからの攻撃や、エバデダンのクイック、ブロックによる2連続得点等で応戦し、デュースの末セットを取り返す。第5セット、サントリーはアラインのバックアタックでマッチポイントを握るも、パナソニックは大塚の攻撃でデュースの展開へと持ち込む。20点を超える大熱戦の末最後は、総得点ランキング1位につけるムセルスキーのスパイクで勢いを得たサントリーが試合を制した。		

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント													
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント													
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :							
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :					
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗			
			ポイント :	-	第2セット				ポイント :	-			
監督コメント													
											第3セット		
											第4セット		
											第5セット		
											要約レポート		